林野公共事業事前評価における多段階評価方式の試行について

1 事前評価における多段階評価方式の導入について

林野公共事業の新規地区採択に当たっては、採択過程の透明性及び客観性の確保 を図るため、平成12年度(平成13年度新規地区)から費用便益比(B/C)を 算出するとともに、「チェックリスト」による評価を実施しその結果を公表している。

事前評価を改善する観点から、現行のチェックリストによる評価に代えて、多段 階評価方式を導入することについて検討し、「農林水産省政策評価会林野庁専門部会」 に諮ってきたところである。

2 多段階評価方式の考え方

評価項目体系は、現行と同様、「必須事項」と「優先配慮事項」で構成する政策評価法の観点や森林・林業基本法の理念等を基に評価項目を設定した。

評価指標の設定に当たっては、優先配慮事項に関して、事業の有効性、効率性、 実施環境等について、計画の内容、当該工事の過去の効果等を基に、A, B, Cの 3段階で評価する。

3 多段階評価手法の取組

平成19年度新規事業実施地区の採択について、直轄事業を対象に、下記について で多段階方式を試行的に実施した。

○多段階評価方式の試行対象事業

事業費が10億円以上の地区。事業費が10億円以上の地区がない場合は、森林整備事業については事業費が最も高い地区、治山事業については地区指定のものについて実施。

【問い合わせ先】

林野庁森林整備部計画課施工企画調整室

担当者:飯島(内6218)、金口(6224)

代 表: 03-3502-8111 直 通: 3502-6882

【治山事業】 都道府県名:北海道 事業名:保安林整備促進 事業地区名:仁々志別 北海道局 根釧西部署

都坦村!	<u>県名:北海迫</u>		事業名:保安林整備促進 事業地区名:仁々志別	北海追局、和	恨 釧四部者
大項目		i項目 ┃ 小項目	評価指標	判定基準	評価
八块口	<u> </u>	小.谷口		□ A: 流域保全上重要な河川上流又は集落等を保護するための計画である	
	国土の保全	- 安全	事業の実施により、山地に起因する災害から住民の生命・財産の保全	B: 道路等の公共施設又は農地等を保護するための計画である	Α
		^_	が図られる	C: 上記A、B以外の計画である	1 ~
				コント て生活田水の水源となっている浮流 貯水池等又け集落等の水道水源の取水施設に係る水源	
有	LYT 1. 1 = 0 M I= 14 Y		44.74	A: 森林での計画である	
効	水源かん養の	D維持推進 事業の実施により、水源かん養が図られる	B: 農業用水等、上記A以外の施設の利用に係る水源森林での計画である	В	
性				C: 上記A、B以外の計画である	1
			・形成等 事業の実施により、生活環境の保全・形成等が図られる	A: 事業の実施により生活環境保全機能及び保健文化機能の双方の機能を発揮する	
	生活環境の係	呆全・形成等		B: 事業の実施により生活環境保全機能、保健文化機能のいずれかひとつの機能を発揮する	1 в
				C: 上記A、B以外の計画である	1
効				A: 事業の経済性・効率性が確保されているとともに、コストの縮減効果の発現が期待できる	
率	事業の経済性	生・効率性	事業の経済性・効率性の確保とコストの縮減対策が計画されている	B: 事業の経済性・効率性が確保されている	В
性				C: 事業の経済性・効率性が確保されていない	1 -
				地域住民や自然環境・景観に関する協議会などの意見を取り入れた、自然環境・景観に配慮した計	
	占好理+	見知。の刑庁	力は理体の個人機能が方面に発揮されて利面した。ていて	A: 画である	
	日	景観への配慮	自然環境の保全機能が高度に発揮される計画となっている	B: 上記A以外で自然環境・景観に配慮した計画である	В
				C: 自然環境・景観に配慮した計画となっていない	
i				次のいずれか1項目以上に該当する	
i				(ア) 地域材を利用した治山ダムエや大型の土留工等の設置を計画している	
1				A: (イ) 地域材を利用した柵工、筋工等に係る直接工事費が当該事業全体の直接工事費に対して十分	
	地域材の有效	协利用	地域材を有効利用した工種・工法を積極的に導入している	に大きいこと	
				(ウ) 地域材を有効利用した工種・工法の開発、普及、定着を図る計画である	_
				B: 上記Aには該当しないが、地域材を利用した計画である	1
				C: 地域材を利用した計画となっていない	1
				A: 治山施設の施工と併せて周辺森林における本数調整伐を実施する計画である	
	間伐対策の排	佳 准	本数調整伐による効果的な森林整備を実施する計画となっている	B: 上記Aには該当しないが、本数調整伐を含む計画である	С
	[H] [XX] XV7]	E.E	「一大」の一点にあるが、「「一点」であっている。 「一点」であっている。	C: 間伐対策の推進に関連しない計画である	1 ~
				促令対象に古街地及は集落、主亜八世体記(は道、豊道太会な)、 災害時更援助者体記等が会まれ	
		1 = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	保全対象施設に人家、災害時要救護者施設や公共施設等重要な施設が	A: 本主対象に印度地域は未済、主要公共施設、体道、展道を占む/、及音時要援助名施設等が占され	
		人家等の保全	人家等の保全 株主対象施設に入象、災害時安秋設有施設や五共施設等重安な施設が 含まれる	B: 保全対象に上記A以外の農地、ため池、用排水施設、漁場等が含まれる	Α
				C: 上記A、Bのものが保全対象に含まれない	1
		土砂災害の防止		A: 過去10年以内に土砂災害等があった地区である	
事			過去に、災害が発生し、重大な被害が生じたことがある。又は事業を 土砂災害の防止	B: 過去20年以内に土砂災害等があった地区である	1 в
業			早急に実施しなければ災害の発生する可能性が著しく高い	C: 過去20年以内に土砂災害等の記憶はなく、災害発生頻度が低く、緊急性も低い地区である	1
の				A: 山地災害危険地区に指定されており、山腹崩壊等が発生している又はそのおそれが極めて高い地区	
実 施				<u>^ : である </u>	
旭二		災害発生の危険度	災害発生の危険度 山地災害危険地区に指定されている	B: 山地災害危険地区に指定された地区のうち上記以外の地区又は山地災害危険地区の指定がないもの	
環境	緊急性			の災害発生の危険性か高い地区である	
等				C: 山地災害危険地区の指定がなく、災害発生の危険性が低く、緊急性も低い地区である	
,,				生活用水等の利用に係る水源森林で次の1項目に該当する	
			過去に渇水被害又は土砂等の流入、水質の汚濁等が発生した集落、ダ	A: (ア)過去20年以内に渇水被害が発生	
		水資源の確保	過去に周小板音又は工物等の流入、小真の万角等が光生した業格、ターム、貯水池等の水源森林である	(イ) 土砂等の流入、水質の汚濁等が発生	В
			立、対外心等の水源林作である	B: 上記A以外の生活用水等の利用に係る水源森林である	
				C: 上記A、B以外で水資源の確保の必要性が低く緊急性も低い地区である	
				A: 当該事業を早急に実施しなければ他事業の進捗等に大きな影響が生じる	
		他事業への影響	他事業との関連で緊急性がある	B: 当該事業を早急に実施することにより他事業が円滑に促進する	1 в
				C: 他事業への影響がなく、緊急性も低い	1
				A:地域関係者等からの要望又は同意がある	
		地域関係者の理解	地域関係者の理解等が得られている	B: 地域関係者等への説明を了している又は同意予定となっている	Α
				C: 地域関係者等への説明又は同意行為は全く実施されていない	1 ^`
				A: 他事業と具体的な計画に基づき連携が図られている	
	効果的な事	他事業との連携	他事業との連携や地域計画に基づく具体的計画が策定されている	B: 他事業と具体的な計画に基づき協議、調整中である	Α
	効果的な争 業の推進	ニテホーマルモル	in the second of	C: 他事業と連携した計画とすべきだが未調整である	1 ^
	木が圧圧			以下の全ての項目に該当する	†
				A: (ア) 地域森林計画等に位置付けられている	
i		他計画との関連	他計画等からみて重点的に整備する妥当性がある	(イ) 地域防災計画に位置付けられている	В
l				B: 上記Aの(ア)又は(イ)の項目に該当する	
l				│ C: 調整が必要な他計画との調整がなされていない	

都道府県名:北海道 北海道局 十勝西部署東大雪支署 事業名:水源流域広域保全整備 事業地区名:糠平湖北岸 評価項目 判定基準 評価 評価指標 大項目 中項目 小項目 A: 流域保全上重要な河川上流又は集落等を保護するための計画である 事業の実施により、山地に起因する災害から住民の生命・財産の保全 国土の保全・安全 B: 道路等の公共施設又は農地等を保護するための計画である Α が図られる 上記A、B以外の計画である 主として生活用水の水源となっている渓流、貯水池等又は集落等の水道水源の取水施設に係る水源 A : 森林での計画である 効 事業の実施により、水源かん養が図られる 水源かん養の維持推進 Α B: 農業用水等、上記A以外の施設の利用に係る水源森林での計画である 性 上記A、B以外の計画である 事業の実施により生活環境保全機能及び保健文化機能の双方の機能を発揮する 生活環境の保全・形成等 事業の実施により、生活環境の保全・形成等が図られる 事業の実施により生活環境保全機能、保健文化機能のいずれかひとつの機能を発揮する Α 上記A、B以外の計画である 事業の経済性・効率性が確保されているとともに、コストの縮減効果の発現が期待できる 率 事業の経済性・効率性 事業の経済性・効率性の確保とコストの縮減対策が計画されている В: 事業の経済性・効率性が確保されている Α 性 事業の経済性・効率性が確保されていない 地域住民や自然環境・景観に関する協議会などの意見を取り入れた、自然環境・景観に配慮した計 Α 画である 自然環境・景観への配慮 自然環境の保全機能が高度に発揮される計画となっている Α В. 上記A以外で自然環境・景観に配慮した計画である 自然環境・景観に配慮した計画となっていない 次のいずれか1項目以上に該当する (ア) 地域材を利用した治山ダムエや大型の土留工等の設置を計画している (イ) 地域材を利用した柵工、筋工等に係る直接工事費が当該事業全体の直接工事費に対して十分 に大きいこと 地域材の有効利用 地域材を有効利用した工種・工法を積極的に導入している Α (ウ) 地域材を有効利用した工種・工法の開発、普及、定着を図る計画である 上記Aには該当しないが、地域材を利用した計画である 地域材を利用した計画となっていない 治山施設の施工と併せて周辺森林における本数調整伐を実施する計画である 間伐対策の推進 本数調整伐による効果的な森林整備を実施する計画となっている B : С 上記Aには該当しないが、本数調整伐を含む計画である 間伐対策の推進に関連しない計画である 保全対象に市街地又は集落、主要公共施設(林道、農道を含む)、災害時要援助者施設等が含まれ Α 保全対象施設に人家、災害時要救護者施設や公共施設等重要な施設な 人家等の保全 Α B: 保全対象に上記A以外の農地、ため池、用排水施設、漁場等が含まれる 含まれる **C** : 上記A、Bのものが保全対象に含まれない A : 過去10年以内に土砂災害等があった地区である 過去に、災害が発生し、重大な被害が生じたことがある。又は事業を 土砂災害の防止 過去20年以内に土砂災害等があった地区である В В: 早急に実施しなければ災害の発生する可能性が著しく高い 業 過去20年以内に土砂災害等の記憶はなく、災害発生頻度が低く、緊急性も低い地区である の 山地災害危険地区に指定されており、山腹崩壊等が発生している又はそのおそれが極めて高い地区 実施 Α: 山地災害危険地区に指定された地区のうち上記以外の地区又は山地災害危険地区の指定がないもの 災害発生の危険度 山地災害危険地区に指定されている 環 緊急性 の災害発生の危険性が高い地区である 境 С 山地災害危険地区の指定がなく、災害発生の危険性が低く、緊急性も低い地区である 生活用水等の利用に係る水源森林で次の1項目に該当する (ア) 過去20年以内に渇水被害が発生 過去に渇水被害又は土砂等の流入、水質の汚濁等が発生した集落、ダ (イ) 土砂等の流入、水質の汚濁等が発生 水資源の確保 Α ム、貯水池等の水源森林である 上記A以外の生活用水等の利用に係る水源森林である 上記A、B以外で水資源の確保の必要性が低く緊急性も低い地区である A : |当該事業を早急に実施しなければ他事業の進捗等に大きな影響が生じる 他事業への影響 他事業との関連で緊急性がある B : 当該事業を早急に実施することにより他事業が円滑に促進する Α 他事業への影響がなく、緊急性も低い 地域関係者等からの要望又は同意がある Α. 地域関係者の理解 В 地域関係者の理解等が得られている 地域関係者等への説明を了している又は同意予定となっている 地域関係者等への説明又は同意行為は全く実施されていない 他事業と具体的な計画に基づき連携が図られている A : В |他事業との連携 他事業との連携や地域計画に基づく具体的計画が策定されている B : 他事業と具体的な計画に基づき協議、調整中である 効果的な事 業の推進 他事業と連携した計画とすべきだが未調整である 以下の全ての項目に該当する (ア) 地域森林計画等に位置付けられている (イ) 地域防災計画に位置付けられている В 他計画との関連 他計画等からみて重点的に整備する妥当性がある 上記Aの(ア)又は(イ)の項目に該当する C: 調整が必要な他計画との調整がなされていない

【治山事業】 都道府県名:宮城県 事業名:水源流域広域保全 事業地区名:七ヶ宿 東北局 仙台署

11) 但 / 1) :	宗石 呂城宗		事業名:水源流域仏域保全 事業地区名:七ヶ佰	果儿师	可 加古者	
大項目		i項目 ┃ 小項目	評価指標	判定基準	評価	
7.XH	1 7 1	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		A: 流域保全上重要な河川上流又は集落等を保護するための計画である		
	国土の保全・	- 安全	事業の実施により、山地に起因する災害から住民の生命・財産の保全	B: 道路等の公共施設又は農地等を保護するための計画である	Α	
	国工の体工	が図られる		C:上記A、B以外の計画である	^	
				コント て生活田水の水源となっている浮流 貯水池等又け集落等の水道水源の取水施設に係る水源	1	
有				A: 森林での計画である		
効	水源かん養の	の維持推進	事業の実施により、水源かん養が図られる	B: 農業用水等、上記A以外の施設の利用に係る水源森林での計画である	A	
性				C: 上記A、B以外の計画である	1	
l	上、江西はのり		************************************		_	
1	生活環境の特	呆全・形成等	事業の実施により、生活環境の保全・形成等が図られる	B: 事業の実施により生活環境保全機能、保健文化機能のいずれかひとつの機能を発揮する	C	
				C: 上記A、B以外の計画である		
効				A: 事業の経済性・効率性が確保されているとともに、コストの縮減効果の発現が期待できる	_	
率	事業の経済性	生・効率性	事業の経済性・効率性の確保とコストの縮減対策が計画されている	B: 事業の経済性・効率性が確保されている	В	
性				C: 事業の経済性・効率性が確保されていない		
				地域住民や自然環境・景観に関する協議会などの意見を取り入れた、自然環境・景観に配慮した計		
	白 然 理 培	景観への配慮	白然理性の保合機能が真由に発揮されて計画したっている	一 世 じめる	В	
	日	京戦 への 記慮	自然環境の保全機能が高度に発揮される計画となっている	B: 上記A以外で自然環境・景観に配慮した計画である	ם ן	
				C: 自然環境・景観に配慮した計画となっていない		
				次のいずれか1項目以上に該当する		
1						
1				A: (イ)地域材を利用した旧田メムエや大宝の工宙工等の設置を引回している A: (イ)地域材を利用した柵工、筋工等に係る直接工事費が当該事業全体の直接工事費に対して十分		
1	地域材の有效	क्र€ा⊞	地域材を有効利用した工種・工法を積極的に導入している	A: (1) 地域例を利用した価工、加工等に保る直接工事員が当該事業主体の直接工事員に対して干力 に大きいこと	В	
1	地域が切り有名	נדעוייזינע	地域例を有効利用しに工性・工法を慎極的に導入している	(ウ)地域材を有効利用した工種・工法の開発、普及、定着を図る計画である	l b	
				4		
				B: 上記Aには該当しないが、地域材を利用した計画である		
				C : 地域材を利用した計画となっていない		
				A: 治山施設の施工と併せて周辺森林における本数調整伐を実施する計画である		
	間伐対策の推	生進	本数調整伐による効果的な森林整備を実施する計画となっている	B:上記Aには該当しないが、本数調整伐を含む計画である	Α	
				C: 間伐対策の推進に関連しない計画である	1	
				保全対象に市街地区は集落。主要の共体設(林道、豊道を含む) 災害時更援助务権設等が含まれ	İ	
			保全対象施設に人家、災害時要救護者施設や公共施設等重要な施設が 含まれる	A: A: A: A : A : A : A : A : A : A : A	l .	
		人家等の保全		B:保全対象に上記A以外の農地、ため池、用排水施設、漁場等が含まれる	Α	
				C: 上記A、Bのものが保全対象に含まれない		
		土砂災害の防止	土砂災害の防止 過去に、災害が発生し、重大な被害が生じたことがある。又は事業を 早急に実施しなければ災害の発生する可能性が著しく高い	A: 過去10年以内に土砂災害等があった地区である	1	
事				B: 過去20年以内に土砂災害等があった地区である	Α	
業				C: 過去20年以内に土砂災害等の記憶はなく、災害発生頻度が低く、緊急性も低い地区である	^	
の				0 週去20年以内に上砂火音等の記憶はなく、火音光主頻度が抱く、楽念はも悩む地区とめる 4 山地災害危険地区に指定されており、山腹崩壊等が発生している又はそのおそれが極めて高い地区	——	
実				A: 四地及音厄陝地区に相足されてあり、山腹朋塚寺が光生している又はてのおてれが極めて向い地区 である		
施		≪中≈4の4№中	災害発生の危険度 山地災害危険地区に指定されている	山地災害危険地区に指定された地区のうち上記以外の地区又は山地災害危険地区の指定がないもの	ь	
環	緊急性	災害発生の危険度		B: の災害発生の危険性が高い地区である	В	
施環境	자 IV II				-	
等				C : 山地災害危険地区の指定がなく、災害発生の危険性が低く、緊急性も低い地区である	1	
				生活用水等の利用に係る水源森林で次の1項目に該当する		
			過去に渇水被害又は土砂等の流入、水質の汚濁等が発生した集落、ダ	A: (ア)過去20年以内に渇水被害が発生		
		水資源の確保	週云に海水板音又は工物寺の流入、水真の汚淘寺が発生した業洛、ダーム、貯水池等の水源森林である	(イ) 土砂等の流入、水質の汚濁等が発生	Α	
			一、 対 小心 寸 ツハ///ホネイヤ く のつ	B: 上記A以外の生活用水等の利用に係る水源森林である		
				C: 上記A、B以外で水資源の確保の必要性が低く緊急性も低い地区である	1	
				A: 当該事業を早急に実施しなければ他事業の進捗等に大きな影響が生じる	1	
		他事業への影響	他事業との関連で緊急性がある	B: 当該事業を早急に実施することにより他事業が円滑に促進する	В	
		心ず木・いが音	「「「「「」」」。	日: 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	1 "	
					1	
				A: 地域関係者等からの要望又は同意がある	1 .	
		地域関係者の理解	地域関係者の理解等が得られている	B: 地域関係者等への説明を了している又は同意予定となっている	A	
				C: 地域関係者等への説明又は同意行為は全く実施されていない		
				A: 他事業と具体的な計画に基づき連携が図られている		
	効果的な事	他事業との連携	他事業との連携や地域計画に基づく具体的計画が策定されている	B: 他事業と具体的な計画に基づき協議、調整中である	В	
	業の推進			C: 他事業と連携した計画とすべきだが未調整である	1 -	
	~ ツルル			以下の全ての項目に該当する	t	
				A: (ア) 地域森林計画等に位置付けられている		
1		他計画との関連	他計画等からみて重点的に整備する妥当性がある	(イ)地域防災計画に位置付けられている	В	
1				B: 上記Aの(ア)又は(イ)の項目に該当する	l	
1				C: 調整が必要な他計画との調整がなされていない	1	
		1	1	The companies of the co		

都道府県名:栃木県 関東局 日光署 事業名:重要自然維持地域保安林整備 事業地区名:光徳地区 評価項目 判定基準 評価 評価指標 大項目 中項目 小項目 A: |流域保全上重要な河川上流又は集落等を保護するための計画である 事業の実施により、山地に起因する災害から住民の生命・財産の保全 国土の保全・安全 B: 道路等の公共施設又は農地等を保護するための計画である Α が図られる C: 上記A、B以外の計画である |主として生活用水の水源となっている渓流、貯水池等又は集落等の水道水源の取水施設に係る水源 森林での計画である 効 水源かん養の維持推進 事業の実施により、水源かん養が図られる Α B: 農業用水等、上記A以外の施設の利用に係る水源森林での計画である C: 上記A、B以外の計画である A: 事業の実施により生活環境保全機能及び保健文化機能の双方の機能を発揮する 生活環境の保全・形成等 事業の実施により、生活環境の保全・形成等が図られる B: 事業の実施により生活環境保全機能、保健文化機能のいずれかひとつの機能を発揮する Α C: 上記A、B以外の計画である A: 事業の経済性・効率性が確保されているとともに、コストの縮減効果の発現が期待できる 事業の経済性・効率性 B: 事業の経済性・効率性が確保されている Α 事業の経済性・効率性の確保とコストの縮減対策が計画されている 性 C: 事業の経済性・効率性が確保されていない 地域住民や自然環境・景観に関する協議会などの意見を取り入れた、自然環境・景観に配慮した計 画である 自然環境・景観への配慮 自然環境の保全機能が高度に発揮される計画となっている В 上記A以外で自然環境・景観に配慮した計画である C: 自然環境・景観に配慮した計画となっていない 次のいずれか1項目以上に該当する (ア) 地域材を利用した治山ダムエや大型の土留工等の設置を計画している (イ) 地域材を利用した柵工、筋工等に係る直接工事費が当該事業全体の直接工事費に対して十分 に大きいこと 地域材の有効利用 地域材を有効利用した工種・工法を積極的に導入している Α (ウ) 地域材を有効利用した工種・工法の開発、普及、定着を図る計画である B: 上記Aには該当しないが、地域材を利用した計画である C: 地域材を利用した計画となっていない A: |治山施設の施工と併せて周辺森林における本数調整伐を実施する計画である 間伐対策の推進 本数調整伐による効果的な森林整備を実施する計画となっている B: 上記Aには該当しないが、本数調整伐を含む計画である Α C: 間伐対策の推進に関連しない計画である |保全対象に市街地又は集落、主要公共施設(林道、農道を含む)、災害時要援助者施設等が含まれ A : 保全対象施設に人家、災害時要救護者施設や公共施設等重要な施設が 人家等の保全 Α B: 保全対象に上記A以外の農地、ため池、用排水施設、漁場等が含まれる 含まれる 上記A、Bのものが保全対象に含まれない A: 過去10年以内に土砂災害等があった地区である 過去に、災害が発生し、重大な被害が生じたことがある。又は事業を 土砂災害の防止 B: 過去20年以内に土砂災害等があった地区である В 早急に実施しなければ災害の発生する可能性が著しく高い 業 C: 過去20年以内に土砂災害等の記憶はなく、災害発生頻度が低く、緊急性も低い地区である ഗ 山地災害危険地区に指定されており、山腹崩壊等が発生している又はそのおそれが極めて高い地区 実 A : である 施 山地災害危険地区に指定された地区のうち上記以外の地区又は山地災害危険地区の指定がないもの 災害発生の危険度 山地災害危険地区に指定されている Α 環 B : 緊急性 の災害発生の危険性が高い地区である 境 山地災害危険地区の指定がなく、災害発生の危険性が低く、緊急性も低い地区である 筀 生活用水等の利用に係る水源森林で次の1項目に該当する (ア)過去20年以内に渇水被害が発生 過去に渇水被害又は土砂等の流入、水質の汚濁等が発生した集落、ダ (イ) 土砂等の流入、水質の汚濁等が発生 水資源の確保 Α ム、貯水池等の水源森林である B: 上記A以外の生活用水等の利用に係る水源森林である C: 上記A、B以外で水資源の確保の必要性が低く緊急性も低い地区である A: 当該事業を早急に実施しなければ他事業の進捗等に大きな影響が生じる В 他事業への影響 他事業との関連で緊急性がある B: 当該事業を早急に実施することにより他事業が円滑に促進する C: 他事業への影響がなく、緊急性も低い A: 地域関係者等からの要望又は同意がある 地域関係者の理解 地域関係者の理解等が得られている B: 地域関係者等への説明を了している又は同意予定となっている В C: 地域関係者等への説明又は同意行為は全く実施されていない A: 他事業と具体的な計画に基づき連携が図られている 他事業との連携 他事業との連携や地域計画に基づく具体的計画が策定されている B: 他事業と具体的な計画に基づき協議、調整中である В 効果的な事 C: 他事業と連携した計画とすべきだが未調整である 業の推進 以下の全ての項目に該当する (ア) 地域森林計画等に位置付けられている 他計画との関連 (イ) 地域防災計画に位置付けられている В 他計画等からみて重点的に整備する妥当性がある B: 上記Aの(ア)又は(イ)の項目に該当する

C: 調整が必要な他計画との調整がなされていない

【治山事業】 都道府県名:広島 事業名:保安林整備促進事業地区名:七ヶ所山 近中局 広島北部署

 和坦村	県名: 広 島		事業名:保安林整備促進 事業地区名:七ヶ所山	近中局 儿	ム島北部者
大項目		i項目 ┃ 小項目	- 評価指標	判定基準	評価
八块口	丁	小.谷口		A: 流域保全上重要な河川上流又は集落等を保護するための計画である	
	国土の保全	- 安全	事業の実施により、山地に起因する災害から住民の生命・財産の保全	B: 道路等の公共施設又は農地等を保護するための計画である	Α
		^_	が図られる	C: 上記A、B以外の計画である	· ``
				コンド て生活田水の水源となっている浮流 貯水池等又け集落等の水道水源の取水施設に係る水源	
有	Large de de	~ ^/L 1+ 1/L >/L	事業の実施により、水源かん養が図られる	A: 森林での計画である	
効	水源かん養の	り維持推進		B: 農業用水等、上記A以外の施設の利用に係る水源森林での計画である	В
性				C: 上記A、B以外の計画である	1
				A: 事業の実施により生活環境保全機能及び保健文化機能の双方の機能を発揮する	
	生活環境の係	呆全・形成等	· · · · · ·	B: 事業の実施により生活環境保全機能、保健文化機能のいずれかひとつの機能を発揮する	1 B
				C: 上記A、B以外の計画である	1 -
効				A: 事業の経済性・効率性が確保されているとともに、コストの縮減効果の発現が期待できる	
率	事業の経済性	生・効率性	事業の経済性・効率性の確保とコストの縮減対策が計画されている	B: 事業の経済性・効率性が確保されている	C
性				C: 事業の経済性・効率性が確保されていない	1
				地域住民や自然環境・景観に関する協議会などの意見を取り入れた、自然環境・景観に配慮した計	
	白然理培。馬	景観への配慮	自然環境の保全機能が高度に発揮される計画となっている	―――――――――――――――――――――――――――――――――――――	В
	日	えていい出思	日然現場の休主候能が同及に光揮される計画となっている	B: 上記A以外で自然環境・景観に配慮した計画である	ם ו
				C : 自然環境・景観に配慮した計画となっていない	
l				次のいずれか1項目以上に該当する	
ii				(ア) 地域材を利用した治山ダムエや大型の土留工等の設置を計画している	
ı				A: (イ) 地域材を利用した柵工、筋工等に係る直接工事費が当該事業全体の直接工事費に対して十分	
i	地域材の有効	劲利用	地域材を有効利用した工種・工法を積極的に導入している	に大きいこと	В
				(ウ) 地域材を有効利用した工種・工法の開発、普及、定着を図る計画である	
				B:上記Aには該当しないが、地域材を利用した計画である	1
				C: 地域材を利用した計画となっていない	1
			本数調整伐による効果的な森林整備を実施する計画となっている	A: 治山施設の施工と併せて周辺森林における本数調整伐を実施する計画である	
	間伐対策の排	作 進		B: 上記Aには該当しないが、本数調整伐を含む計画である	В
	1, 1, 3, 1,			C: 間伐対策の推進に関連しない計画である	1 ້
				「保全対象に市街地及け集落」主要が土体記(技造、豊道を含む) ※宝時更採助者体記等が含まれ	
		1 宇生の収入	保全対象施設に人家、災害時要救護者施設や公共施設等重要な施設が	A:	
		人豕寺の保全	人家等の保全	B: 保全対象に上記A以外の農地、ため池、用排水施設、漁場等が含まれる	Α
				C : 上記A、Bのものが保全対象に含まれない	
-		土砂災害の防止	「Atl (公宝が発生」 ままかが宝がたじょこしがもて Dに事業を	A: 過去10年以内に土砂災害等があった地区である	
事			土砂災害の防止 過去に、災害が発生し、重大な被害が生じたことがある。又は事業を 早急に実施しなければ災害の発生する可能性が著しく高い	B: 過去20年以内に土砂災害等があった地区である	Α
業			千志に実施しなければ及告の先生する可能性が者して高い	C: 過去20年以内に土砂災害等の記憶はなく、災害発生頻度が低く、緊急性も低い地区である	
မ မ				A: 山地災害危険地区に指定されており、山腹崩壊等が発生している又はそのおそれが極めて高い地区	
実 施				() රහිත	
把	57 A 11	災害発生の危険度 山地災害危険地区に指定されている	災害発生の危険度 山地災害危険地区に指定されている	B: 山地災害危険地区に指定された地区のうち上記以外の地区又は山地災害危険地区の指定がないもの	Α
環境	緊急性				
等				C: 山地災害危険地区の指定がなく、災害発生の危険性が低く、緊急性も低い地区である	
				生活用水等の利用に係る水源森林で次の1項目に該当する	
			――――――――――――――――――――――――――――――――――――	A: (ア)過去20年以内に渇水被害が発生	
		水資源の確保 過去に渇水被害又は土砂等の流入、水質の汚濁等が発生した集落、ダム、貯水池等の水源森林である	(1)工砂寺の加入、小真の万国寺が光上	Α	
			TO KING GOVERNMENT COST	B: 上記A以外の生活用水等の利用に係る水源森林である	
				C : 上記A、B以外で水資源の確保の必要性が低く緊急性も低い地区である	
				A: 当該事業を早急に実施しなければ他事業の進捗等に大きな影響が生じる	
		他事業への影響	他事業との関連で緊急性がある	B: 当該事業を早急に実施することにより他事業が円滑に促進する	В
				C: 他事業への影響がなく、緊急性も低い	
				A: 地域関係者等からの要望又は同意がある	
		地域関係者の理解	地域関係者の理解等が得られている	B: 地域関係者等への説明を了している又は同意予定となっている	С
				C: 地域関係者等への説明又は同意行為は全く実施されていない	
				A: 他事業と具体的な計画に基づき連携が図られている	Î
	効果的な事	他事業との連携	他事業との連携や地域計画に基づく具体的計画が策定されている	B: 他事業と具体的な計画に基づき協議、調整中である	Α
	業の推進			C: 他事業と連携した計画とすべきだが未調整である	1
	7. V/IL/E			以下の全ての項目に該当する	
				A: (ア) 地域森林計画等に位置付けられている	
i		他計画との関連	他計画等からみて重点的に整備する妥当性がある	(イ)地域防災計画に位置付けられている	В
i				B: 上記Aの(ア)又は(イ)の項目に該当する	4
				│ C: 調整が必要な他計画との調整がなされていない	

都道府県名:滋賀 近中局 滋賀署 事業名:森林水環境総合整備事業 事業地区名: 荒谷山 評価項目 判定基準 評価 評価指標 大項目 中項目 小項目 A: |流域保全上重要な河川上流又は集落等を保護するための計画である 事業の実施により、山地に起因する災害から住民の生命・財産の保全 国土の保全・安全 B: 道路等の公共施設又は農地等を保護するための計画である Α が図られる C: 上記A、B以外の計画である |主として生活用水の水源となっている渓流、貯水池等又は集落等の水道水源の取水施設に係る水源 森林での計画である 効 水源かん養の維持推進 事業の実施により、水源かん養が図られる Α B: 農業用水等、上記A以外の施設の利用に係る水源森林での計画である C: 上記A、B以外の計画である A: 事業の実施により生活環境保全機能及び保健文化機能の双方の機能を発揮する В 生活環境の保全・形成等 事業の実施により、生活環境の保全・形成等が図られる B: 事業の実施により生活環境保全機能、保健文化機能のいずれかひとつの機能を発揮する C: 上記A、B以外の計画である A: 事業の経済性・効率性が確保されているとともに、コストの縮減効果の発現が期待できる В 事業の経済性・効率性 B: 事業の経済性・効率性が確保されている 事業の経済性・効率性の確保とコストの縮減対策が計画されている 性 C: 事業の経済性・効率性が確保されていない 地域住民や自然環境・景観に関する協議会などの意見を取り入れた、自然環境・景観に配慮した計 画である В 自然環境・景観への配慮 自然環境の保全機能が高度に発揮される計画となっている 上記A以外で自然環境・景観に配慮した計画である C: 自然環境・景観に配慮した計画となっていない 次のいずれか1項目以上に該当する (ア) 地域材を利用した治山ダムエや大型の土留工等の設置を計画している (イ) 地域材を利用した柵工、筋工等に係る直接工事費が当該事業全体の直接工事費に対して十分 に大きいこと Α 地域材の有効利用 地域材を有効利用した工種・工法を積極的に導入している (ウ) 地域材を有効利用した工種・工法の開発、普及、定着を図る計画である B: 上記Aには該当しないが、地域材を利用した計画である C: 地域材を利用した計画となっていない A: |治山施設の施工と併せて周辺森林における本数調整伐を実施する計画である 間伐対策の推進 本数調整伐による効果的な森林整備を実施する計画となっている B: 上記Aには該当しないが、本数調整伐を含む計画である Α C: 間伐対策の推進に関連しない計画である |保全対象に市街地又は集落、主要公共施設(林道、農道を含む)、災害時要援助者施設等が含まれ A : 保全対象施設に人家、災害時要救護者施設や公共施設等重要な施設が 人家等の保全 Α B: 保全対象に上記A以外の農地、ため池、用排水施設、漁場等が含まれる 含まれる 上記A、Bのものが保全対象に含まれない A: 過去10年以内に土砂災害等があった地区である 過去に、災害が発生し、重大な被害が生じたことがある。又は事業を 土砂災害の防止 B: 過去20年以内に土砂災害等があった地区である Α 早急に実施しなければ災害の発生する可能性が著しく高い 業 C: 過去20年以内に土砂災害等の記憶はなく、災害発生頻度が低く、緊急性も低い地区である ഗ 山地災害危険地区に指定されており、山腹崩壊等が発生している又はそのおそれが極めて高い地区 実 A : である 施 山地災害危険地区に指定された地区のうち上記以外の地区又は山地災害危険地区の指定がないもの В 災害発生の危険度 山地災害危険地区に指定されている 環 B : 緊急性 の災害発生の危険性が高い地区である 境 山地災害危険地区の指定がなく、災害発生の危険性が低く、緊急性も低い地区である 筀 生活用水等の利用に係る水源森林で次の1項目に該当する (ア)過去20年以内に渇水被害が発生 過去に渇水被害又は土砂等の流入、水質の汚濁等が発生した集落、ダ (イ) 土砂等の流入、水質の汚濁等が発生 水資源の確保 Α ム、貯水池等の水源森林である B: 上記A以外の生活用水等の利用に係る水源森林である C: 上記A、B以外で水資源の確保の必要性が低く緊急性も低い地区である A: 当該事業を早急に実施しなければ他事業の進捗等に大きな影響が生じる В 他事業への影響 他事業との関連で緊急性がある B: 当該事業を早急に実施することにより他事業が円滑に促進する C: 他事業への影響がなく、緊急性も低い A: 地域関係者等からの要望又は同意がある C 地域関係者の理解 地域関係者の理解等が得られている B: 地域関係者等への説明を了している又は同意予定となっている C: 地域関係者等への説明又は同意行為は全く実施されていない A: 他事業と具体的な計画に基づき連携が図られている 他事業との連携 他事業との連携や地域計画に基づく具体的計画が策定されている B: 他事業と具体的な計画に基づき協議、調整中である Α 効果的な事 C: 他事業と連携した計画とすべきだが未調整である 業の推進 以下の全ての項目に該当する (ア) 地域森林計画等に位置付けられている В 他計画との関連 他計画等からみて重点的に整備する妥当性がある (イ) 地域防災計画に位置付けられている B: 上記Aの(ア)又は(イ)の項目に該当する C: 調整が必要な他計画との調整がなされていない

九州局 宮崎北部署 都道府県名:宮崎県 事業名:水源流域広域保全事業 事業地区名: 椎葉 評価項目 評価 評価指標 判定基準 大項目 中項目 小項目 |流域保全上重要な河川上流又は集落等を保護するための計画である 事業の実施により、山地に起因する災害から住民の生命・財産の保 国土の保全・安全 B: 道路等の公共施設又は農地等を保護するための計画である Α 全が図られる C: 上記A、B以外の計画である 主として生活用水の水源となっている渓流、貯水池等又は集落等の水道水源の取水施設に係る水 源森林での計画である 効 水源かん養の維持推進 事業の実施により、水源かん養が図られる Α B: 農業用水等、上記A以外の施設の利用に係る水源森林での計画である C: 上記A、B以外の計画である 事業の実施により生活環境保全機能及び保健文化機能の双方の機能を発揮する В 生活環境の保全・形成等 事業の実施により、生活環境の保全・形成等が図られる B: 事業の実施により生活環境保全機能、保健文化機能のいずれかひとつの機能を発揮する C: 上記A、B以外の計画である A: 事業の経済性・効率性が確保されているとともに、コストの縮減効果の発現が期待できる 事業の経済性・効率性 事業の経済性・効率性の確保とコストの縮減対策が計画されている B: 事業の経済性・効率性が確保されている Α 性 C: 事業の経済性・効率性が確保されていない 地域住民や自然環境・景観に関する協議会などの意見を取り入れた、自然環境・景観に配慮した 計画である В 自然環境・景観への配慮 自然環境の保全機能が高度に発揮される計画となっている 上記A以外で自然環境・景観に配慮した計画である C: 自然環境・景観に配慮した計画となっていない 次のいずれか1項目以上に該当する (ア) 地域材を利用した治山ダムエや大型の土留工等の設置を計画している (イ) 地域材を利用した柵工、筋工等に係る直接工事費が当該事業全体の直接工事費に対して十 地域材の有効利用 分に大きいこと В 地域材を有効利用した工種・工法を積極的に導入している (ウ) 地域材を有効利用した工種・工法の開発、普及、定着を図る計画である B: 上記Aには該当しないが、地域材を利用した計画である C: 地域材を利用した計画となっていない 間伐対策の推進 本数調整伐による効果的な森林整備を実施する計画となっている B: 上記Aには該当しないが、本数調整伐を含む計画である Α 間伐対策の推進に関連しない計画である 保全対象に市街地又は集落、主要公共施設(林道、農道を含む)、災害時要援助者施設等が含ま A : 保全対象施設に人家、災害時要救護者施設や公共施設等重要な施設 人家等の保全 Α 保全対象に上記A以外の農地、ため池、用排水施設、漁場等が含まれる が含まれる C: 上記A、Bのものが保全対象に含まれない 過去10年以内に土砂災害等があった地区である 過去に、災害が発生し、重大な被害が生じたことがある。又は事業 土砂災害の防止 B: 過去20年以内に土砂災害等があった地区である Α を早急に実施しなければ災害の発生する可能性が著しく高い 業 過去20年以内に土砂災害等の記憶はなく、災害発生頻度が低く、緊急性も低い地区である の 山地災害危険地区に指定されており、山腹崩壊等が発生している又はそのおそれが極めて高い地 実 区である 施 山地災害危険地区に指定されている 山地災害危険地区に指定された地区のうち上記以外の地区又は山地災害危険地区の指定がないも В 災害発生の危険度 環 緊急性 のの災害発生の危険性が高い地区である 境 C : 山地災害危険地区の指定がなく、災害発生の危険性が低く、緊急性も低い地区である 笙 生活用水等の利用に係る水源森林で次の1項目に該当する (ア) 過去20年以内に渇水被害が発生 過去に渇水被害又は土砂等の流入、水質の汚濁等が発生した集落、 (イ) 土砂等の流入、水質の汚濁等が発生 水資源の確保 Α ダム、貯水池等の水源森林である 上記A以外の生活用水等の利用に係る水源森林である 上記A、B以外で水資源の確保の必要性が低く緊急性も低い地区である 当該事業を早急に実施しなければ他事業の進捗等に大きな影響が生じる 他事業への影響 他事業との関連で緊急性がある B: | 当該事業を早急に実施することにより他事業が円滑に促進する Α C: 他事業への影響がなく、緊急性も低い 地域関係者等からの要望又は同意がある 地域関係者の理解 地域関係者の理解等が得られている B: 地域関係者等への説明を了している又は同意予定となっている Α C: 地域関係者等への説明又は同意行為は全く実施されていない 他事業と具体的な計画に基づき連携が図られている 効果的な事 他事業との連携 他事業との連携や地域計画に基づく具体的計画が策定されている 他事業と具体的な計画に基づき協議、調整中である Α C: 他事業と連携した計画とすべきだが未調整である 業の推進 以下の全ての項目に該当する (ア) 地域森林計画等に位置付けられている (イ) 地域防災計画に位置付けられている В 他計画との関連 他計画等からみて重点的に整備する妥当性がある B: 上記Aの(ア)又は(イ)の項目に該当する C: 調整が必要な他計画との調整がなされていない

【治山事業】 都道府県名:大分県

分県 事業名:地域防災対策総合治山事業 事業地区名:境川 九州局 大分西部署

都坦村!	県名: 大 分県		事業名:地域防災対策総合治山事業事業地区名:境川		カル カル・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	大分 西部者
大項目		項目 小項目	- 評価指標		判定基準	評価
八块口	十块口	小'块口		Δ.	流域保全上重要な河川上流又は集落等を保護するための計画である	1
	国土の保全	• 安全	事業の実施により、山地に起因する災害から住民の生命・財産の保全		道路等の公共施設又は農地等を保護するための計画である	A
	国工の水王	х т	が図られる	C :		1 ^
					主として生活用水の水源となっている渓流、貯水池等又は集落等の水道水源の取水施設に係る水源	1
有				A :		
効	水源かん養の	の維持推進	事業の実施により、水源かん養が図られる	В:		С
性				C :	上記A、B以外の計画である	
				A :		
	生活環境の値	呆全・形成等	事業の実施により、生活環境の保全・形成等が図られる	B :	事業の実施により生活環境保全機能、保健文化機能のいずれかひとつの機能を発揮する	Α
		777773	, 11.0 X 20.0 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	C :	上記A、B以外の計画である	1 '`
効				Α:	事業の経済性・効率性が確保されているとともに、コストの縮減効果の発現が期待できる	
率	事業の経済性	4 • 効率性	事業の経済性・効率性の確保とコストの縮減対策が計画されている	B:	事業の経済性・効率性が確保されている	Α
性	7- 2/2 02 11 27 11	_ >>> 1 II	, storday in the state of the s	C :	事業の経済性・効率性が確保されていない	1
					地域住民や自然環境・景観に関する協議会などの意見を取り入れた、自然環境・景観に配慮した計	
	<u></u>	目知・の町店	力性理性の個人機能が言葉に発揮されて計画した。マルフ	A :	画である	
	日然琼堤"京	景観への配慮	自然環境の保全機能が高度に発揮される計画となっている	В:	上記A以外で自然環境・景観に配慮した計画である	В
				C :	自然環境・景観に配慮した計画となっていない	
					次のいずれか1項目以上に該当する	
					(ア) 地域材を利用した治山ダムエや大型の土留工等の設置を計画している	
				A :		
	地域材の有効		地域材を有効利用した工種・工法を積極的に導入している		に大きいこと	С
					(ウ) 地域材を有効利用した工種・工法の開発、普及、定着を図る計画である	
				В:	上記Aには該当しないが、地域材を利用した計画である	1
				C :	地域材を利用した計画となっていない	1
				Α:	治山施設の施工と併せて周辺森林における本数調整伐を実施する計画である	+
	間伐対策の推進		本数調整伐による効果的な森林整備を実施する計画となっている	В:	上記Aには該当しないが、本数調整伐を含む計画である	該当なし
				C :	間伐対策の推進に関連しない計画である	
			保全対象施設に人家、災害時要救護者施設や公共施設等重要な施設が 含まれる	+		А
		人家等の保全		A :	Ψ	
				C :	上記A、Bのものが保全対象に含まれない	
-		土砂災害の防止	過去に、災害が発生し、重大な被害が生じたことがある。又は事業を	A :	過去10年以内に土砂災害等があった地区である	Α
事業			早急に実施しなければ災害の発生する可能性が著しく高い	В:	過去20年以内に土砂災害等があった地区である	
業 の			十.8.1元人があるないがのなべ日のたエアの可能にある日ので同じ	C :	過去20年以内に土砂災害等の記憶はなく、災害発生頻度が低く、緊急性も低い地区である	
宝)危険度 山地災害危険地区に指定されている	A :	山地災害危険地区に指定されており、山腹崩壊等が発生している又はそのおそれが極めて高い地区	
実 施					である	А
環	緊急性	災害発生の危険度		В:	山地災害危険地区に指定された地区のうち上記以外の地区又は山地災害危険地区の指定がないもの の災害発生の危険性が高い地区である	
環 境	糸心江					4
等				C :	山地災害危険地区の指定がなく、災害発生の危険性が低く、緊急性も低い地区である	1
				١.	生活用水等の利用に係る水源森林で次の1項目に該当する	
		よ次海の地口	過去に渇水被害又は土砂等の流入、水質の汚濁等が発生した集落、ダ	A :	(ア) 過去20年以内に渇水被害が発生 (イ) 土砂等の流入、水質の汚濁等が発生	
		水資源の確保	ム、貯水池等の水源森林である	<u> </u>		С
				B :	上記A以外の生活用水等の利用に係る水源森林である	4
				C :	上記A、B以外で水資源の確保の必要性が低く緊急性も低い地区である	1
				A :	当該事業を早急に実施しなければ他事業の進捗等に大きな影響が生じる	4 _
		他事業への影響	他事業との関連で緊急性がある	B :	当該事業を早急に実施することにより他事業が円滑に促進する	В
				C :	他事業への影響がなく、緊急性も低い	
		11 1 h 22 fee		_	地域関係者等からの要望又は同意がある	4
		地域関係者の理解	地域関係者の理解等が得られている		地域関係者等への説明を了している又は同意予定となっている	Α
				_	地域関係者等への説明又は同意行為は全く実施されていない	1
					他事業と具体的な計画に基づき連携が図られている	1
	効果的な事	他事業との連携	他事業との連携や地域計画に基づく具体的計画が策定されている		他事業と具体的な計画に基づき協議、調整中である	Α
	業の推進			C :	他事業と連携した計画とすべきだが未調整である	
				1.	以下の全ての項目に該当する	
		ルシェレの即す	ルーニー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー	A :	(ア) 地域森林計画等に位置付けられている	١,
		他計画との関連 他計画等からみて重点的に整備する妥当性がある	В.	(イ)地域防災計画に位置付けられている 上記Aの(ア)又は(イ)の項目に該当する	A	
					調整が必要な他計画との調整がなされていない	1
	<u> </u>	1		U :	関連を対象を同じ間にといこととは、1972年によって1972年にある。	1

【森林整備事業】

都道府県名:北海道 事業名:森林環境保全整備事業 事業地区名:釧路根室森林計画区

評価項目 判定基準 評価指標 評価 大項目 中項目 小項目 事業計画区域のⅢ~区令級の人工林面積に占める間伐計画面積の割合が20%以上でかつ森林の 多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成 健全な森林の育成 Α B: 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている 多様な森林 C: 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっていない づくり 既設の公道等も活用しつつ林道と作業道等の路網が適切に計画されていて、森林整備は路網と適 効率的かつ安定的 切に連携した計画となっている 効 多面的機能を有する森林の適正な整備及び保全を図り、効率的かつ な林業経営基盤の Α |林道、作業道等を適切に整備する計画となっており、森林整備は路網と適切に連携した計画となっ 性 安定的な林業経営を確立する 整備 C: | 既設及び計画されている林道、作業道等と森林整備の計画の連携が図られていない 当該計画が、山村地域への定住の促進に寄与する計画である 山村の活性化 当該計画が、山村の生活基盤の向上に寄与する計画である 該当なし 山村地域の定住を促進する等、山村の生活基盤の向上に寄与する 当該事業は、山村地域への定住促進や生活基盤の向上に寄与する計画ではない 事業の経済性・効率性が確保されているとともに、コストの縮減効果の発現が期待できる 事業の経済性・効率性 事業の経済性、効率性の確保とコストの縮減対策が計画されている B: 事業の経済性・効率性が確保されている Α 性 事業の経済性・効率性が確保されていない 地域住民や自然環境・景観に関する協議会などの意見を取り入れた、自然環境・景観に配慮した 計画である 自然環境・景観への配慮 自然環境の保全機能が高度に発揮される計画となっている Α 上記A以外で自然環境・景観に配慮した計画である C: 自然環境・景観に配慮した計画となっていない 次のいずれか1項目以上に該当する (ア) 地域材を利用した大型の土留工等の設置を計画している (イ) 地域材を利用した柵工、筋工等に係る直接工事費が当該事業全体の直接工事費に対して十 分に大きい 地域材の有効利用 地域材を有効利用した工種・工法を積極的に導入している Α (ウ) 地域材を有効利用した工種・工法の開発、普及、定着を図る計画である B: 上記Aには該当しないが、地域材を利用した計画である 事 C: 地域材を利用した計画となっていない 業 A: 地域関係者等からの要望又は同意がある の 地域関係者の理解 B: 地域関係者等への説明を了している又は同意予定となっている 地域関係者の理解等が得られている Α 実 C: 地域関係者等への説明又は同意行為は全く実施されていない 施 A: 高性能林業機械の利用計画等の作業体系が確立している 環 作業体系の整備 事業実施のための作業体系の整備が図られている В 境 B: 事業実施のための作業体系がほぼ確立している C: 事業実施のための作業体系が全く確立していない A: 直近3ヵ年以内に事業計画区域内で激甚災害に指定された災害が発生したことがある 効率的な事 過去に事業計画区域内で災害が発生したことがある又は早期に事業を実施しないと災害が発生す 被害地等の早期復旧 В 森林被害地が早期に復旧されること 業の推進 る可能性がある C: 事業計画区域内での災害の発生の可能性は全くない 他事業と具体的な計画に基づき連携が図られている 他事業との連携 他事業との連携や地域計画に基づく具体的計画が策定されている Α 他事業と具体的な計画に基づき協議、調整中である C: 他事業と連携した計画とすべきだが未調整である A: 市町村の総合振興計画等との調整が図られている 他計画との関連 他計画等からみて重点的に整備する妥当性がある B: 市町村の総合振興計画等と調整中である Α C: 市町村の総合振興計画等と調整が必要であるが、未調整である

北海道局 根釧東部署

【森林整備事業】

都道府県名:北海道 事業名:森林環境保全整備事業 事業地区名:釧路根室森林計画区

評価項目 判定基準 評価指標 評価 大項目 中項目 小項目 事業計画区域のⅢ~区令級の人工林面積に占める間伐計画面積の割合が20%以上でかつ森林の 多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成 健全な森林の育成 Α B: 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている 多様な森林 C: 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっていない づくり 既設の公道等も活用しつつ林道と作業道等の路網が適切に計画されていて、森林整備は路網と適 効率的かつ安定的 切に連携した計画となっている 効 多面的機能を有する森林の適正な整備及び保全を図り、効率的かつ な林業経営基盤の Α |林道、作業道等を適切に整備する計画となっており、森林整備は路網と適切に連携した計画となっ 性 安定的な林業経営を確立する 整備 C: | 既設及び計画されている林道、作業道等と森林整備の計画の連携が図られていない 当該計画が、山村地域への定住の促進に寄与する計画である 山村の活性化 当該計画が、山村の生活基盤の向上に寄与する計画である 該当なし 山村地域の定住を促進する等、山村の生活基盤の向上に寄与する 当該事業は、山村地域への定住促進や生活基盤の向上に寄与する計画ではない 事業の経済性・効率性が確保されているとともに、コストの縮減効果の発現が期待できる 事業の経済性・効率性 事業の経済性、効率性の確保とコストの縮減対策が計画されている B: 事業の経済性・効率性が確保されている Α 性 事業の経済性・効率性が確保されていない 地域住民や自然環境・景観に関する協議会などの意見を取り入れた、自然環境・景観に配慮した 計画である 自然環境・景観への配慮 自然環境の保全機能が高度に発揮される計画となっている Α 上記A以外で自然環境・景観に配慮した計画である C: 自然環境・景観に配慮した計画となっていない 次のいずれか1項目以上に該当する (ア) 地域材を利用した大型の土留工等の設置を計画している (イ) 地域材を利用した柵工、筋工等に係る直接工事費が当該事業全体の直接工事費に対して十 分に大きい 地域材の有効利用 地域材を有効利用した工種・工法を積極的に導入している Α (ウ) 地域材を有効利用した工種・工法の開発、普及、定着を図る計画である B: 上記Aには該当しないが、地域材を利用した計画である 事 C: 地域材を利用した計画となっていない 業 A: 地域関係者等からの要望又は同意がある の 地域関係者の理解 B: 地域関係者等への説明を了している又は同意予定となっている 地域関係者の理解等が得られている Α 実 C: 地域関係者等への説明又は同意行為は全く実施されていない 施 A: 高性能林業機械の利用計画等の作業体系が確立している 環 作業体系の整備 事業実施のための作業体系の整備が図られている В 境 B: 事業実施のための作業体系がほぼ確立している C: 事業実施のための作業体系が全く確立していない A: 直近3ヵ年以内に事業計画区域内で激甚災害に指定された災害が発生したことがある 効率的な事 過去に事業計画区域内で災害が発生したことがある又は早期に事業を実施しないと災害が発生す 被害地等の早期復旧 В 森林被害地が早期に復旧されること 業の推進 る可能性がある C: 事業計画区域内での災害の発生の可能性は全くない 他事業と具体的な計画に基づき連携が図られている 他事業との連携 他事業との連携や地域計画に基づく具体的計画が策定されている Α 他事業と具体的な計画に基づき協議、調整中である C: 他事業と連携した計画とすべきだが未調整である A: 市町村の総合振興計画等との調整が図られている 他計画との関連 他計画等からみて重点的に整備する妥当性がある B: 市町村の総合振興計画等と調整中である Α C: 市町村の総合振興計画等と調整が必要であるが、未調整である

北海道局 根釧西部署

【森林整備事業】 都道府県名:北海道 北海道局 留萌南部署 事業名:森林環境保全整備事業 事業地区名:留萌森林計画区

	来名:北海道 評価	項目	学术4. 林怀境况休主堂朋学术 学术地区4. 田明林怀间		田明田即名
大項目		小項目	評価指標	判定基準	評価
		ゆ へた本せの充止	森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成	A 事業計画区域のⅢ~区令級の人工林面積に占める間伐計画面積の割合が20%以上でかつ森林の 多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている	
		健全な森林の育成	する	B: 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている	В
	多様な森林			C: 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっていない	
有 効	づくり	効率的かつ安定的	多面的機能を有する森林の適正な整備及び保全を図り、効率的かつ	A: 既設の公道等も活用しつつ林道と作業道等の路網が適切に計画されていて、森林整備は路網と 切に連携した計画となっている	_
性		な林業経営基盤の 整備 な林業経営を確立する	B: 林道、作業道等を適切に整備する計画となっており、森林整備は路網と適切に連携した計画とプ	io A	
		走 佣		C: 既設及び計画されている林道、作業道等と森林整備の計画の連携が図られていない	
				A: 当該計画が、山村地域への定住の促進に寄与する計画である	
	山村の活性化	t	山村地域の定住を促進する等、山村の生活基盤の向上に寄与する	B: 当該計画が、山村の生活基盤の向上に寄与する計画である	該当なし
				C: 当該事業は、山村地域への定住促進や生活基盤の向上に寄与する計画ではない	
効				A: 事業の経済性・効率性が確保されているとともに、コストの縮減効果の発現が期待できる	
率性	事業の経済性	生・効率性	事業の経済性、効率性の確保とコストの縮減対策が計画されている	B: 事業の経済性・効率性が確保されている	Α
性				C: 事業の経済性・効率性が確保されていない	
	方 似四 块 5	見知。の形成	ウルアはの/II 人物化パラウェルグラフェル・マング	A: 地域住民や自然環境・景観に関する協議会などの意見を取り入れた、自然環境・景観に配慮した計画である	
	自然環境・景観への配慮 地域材の有効利用		配慮 自然環境の保全機能が高度に発揮される計画となっている	B: 上記A以外で自然環境・景観に配慮した計画である	A
				C: 自然環境・景観に配慮した計画となっていない	
			地域材を有効利用した工種・工法を積極的に導入している	次のいずれか1項目以上に該当する (ア)地域材を利用した大型の土留工等の設置を計画している A: (イ)地域材を利用した柵工、筋工等に係る直接工事費が当該事業全体の直接工事費に対して 分に大きい (ウ)地域材を有効利用した工種・工法の開発、普及、定着を図る計画である	- A
_				B: 上記Aには該当しないが、地域材を利用した計画である	
事				C: 地域材を利用した計画となっていない	
業の				A: 地域関係者等からの要望又は同意がある	
の宝		地域関係者の理解	地域関係者の理解 地域関係者の理解等が得られている	B: 地域関係者等への説明を了している又は同意予定となっている	Α
施				C: 地域関係者等への説明又は同意行為は全く実施されていない	
実 施環 境				A: 高性能林業機械の利用計画等の作業体系が確立している	
境		作業体系の整備	事業実施のための作業体系の整備が図られている	B: 事業実施のための作業体系がほぼ確立している	В
等				C: 事業実施のための作業体系が全く確立していない	
-	効率的な事			A: 直近3ヵ年以内に事業計画区域内で激甚災害に指定された災害が発生したことがある	
	対学的な争 業の推進	被害地等の早期復旧	森林被害地が早期に復旧されること	B: 過去に事業計画区域内で災害が発生したことがある又は早期に事業を実施しないと災害が発生で る可能性がある	В
				C : 事業計画区域内での災害の発生の可能性は全くない	
				A: 他事業と具体的な計画に基づき連携が図られている	
		他事業との連携	他事業との連携や地域計画に基づく具体的計画が策定されている	B: 他事業と具体的な計画に基づき協議、調整中である	Α
				C: 他事業と連携した計画とすべきだが未調整である	1
				A: 市町村の総合振興計画等との調整が図られている	
		他計画との関連	他計画等からみて重点的に整備する妥当性がある	B: 市町村の総合振興計画等と調整中である	A
				C: 市町村の総合振興計画等と調整が必要であるが、未調整である	

【森林整備事業】 都道府県名:青森県 東北局 津軽署 事業名:森林環境保全整備事業 事業地区名:津軽森林計画区

HI-KENTA	<u> </u>	項目	学术们·林怀垛况休主证明学术 学术地位们·洋社林怀们			
大項目	中項目	小項目	評価指標	判定基準	評価	
		ゆ へた本せの充止	森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成	A: 事業計画区域のⅢ~IX令級の人工林面積に占める間伐計画面積の割合が20%以上でかつ森林の 多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている		
		健全な森林の育成	する	B: 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている	Α	
	多様な森林			C: 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっていない		
有 効	づくり	効率的かつ安定的	多面的機能を有する森林の適正な整備及び保全を図り、効率的かつ	A: 既設の公道等も活用しつつ林道と作業道等の路網が適切に計画されていて、森林整備は路網と適切に連携した計画となっている		
性		な林業経営基盤の 整備	安定的な林業経営を確立する	B: 林道、作業道等を適切に整備する計画となっており、森林整備は路網と適切に連携した計画となっ	A	
ı		金加		C: 既設及び計画されている林道、作業道等と森林整備の計画の連携が図られていない		
				A: 当該計画が、山村地域への定住の促進に寄与する計画である		
	山村の活性化	Ľ	山村地域の定住を促進する等、山村の生活基盤の向上に寄与する	B: 当該計画が、山村の生活基盤の向上に寄与する計画である	該当なし	
				C: 当該事業は、山村地域への定住促進や生活基盤の向上に寄与する計画ではない	1	
効				A: 事業の経済性・効率性が確保されているとともに、コストの縮減効果の発現が期待できる		
率性	事業の経済性	生・効率性	事業の経済性、効率性の確保とコストの縮減対策が計画されている	B: 事業の経済性・効率性が確保されている	Α	
性				C: 事業の経済性・効率性が確保されていない		
	占好理接	見知。の形成	ウルではの/II 人物化パラウェ 90 (アント・フラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A: 地域住民や自然環境・景観に関する協議会などの意見を取り入れた、自然環境・景観に配慮した 計画である		
	日然環境。	景観への配慮	自然環境の保全機能が高度に発揮される計画となっている	B: 上記A以外で自然環境・景観に配慮した計画である	A	
				C: 自然環境・景観に配慮した計画となっていない		
	地域材の有効利用		地域材を有効利用した工種・工法を積極的に導入している	次のいずれか1項目以上に該当する (ア)地域材を利用した大型の土留工等の設置を計画している A: (イ)地域材を利用した柵工、筋工等に係る直接工事費が当該事業全体の直接工事費に対して十分に大きい (ウ)地域材を有効利用した工種・工法の開発、普及、定着を図る計画である	А	
				B: 上記Aには該当しないが、地域材を利用した計画である		
事				C: 地域材を利用した計画となっていない	1	
業				A: 地域関係者等からの要望又は同意がある		
の宝		地域関係者の理解 ±	関係者の理解 地域関係者の理解等が得られている B: 地域関係者等への説明を了している又は同意予定となっている	B: 地域関係者等への説明を了している又は同意予定となっている	Α	
佐				C: 地域関係者等への説明又は同意行為は全く実施されていない	1	
一環				A: 高性能林業機械の利用計画等の作業体系が確立している		
実 施環境		作業体系の整備	事業実施のための作業体系の整備が図られている	B: 事業実施のための作業体系がほぼ確立している	Α	
等				C: 事業実施のための作業体系が全く確立していない	1	
-	効率的な事	林忠 小佐 の 日 物 佐 に		A: 直近3ヵ年以内に事業計画区域内で激甚災害に指定された災害が発生したことがある 過去に事業計画区域内で災害が発生したことがある又は早期に事業を実施しないと災害が発生す		
	業の推進	被害地等の早期復旧	森林被害地が早期に復旧されること	B:	В	
				C: 事業計画区域内での災害の発生の可能性は全くない		
				A: 他事業と具体的な計画に基づき連携が図られている		
		他事業との連携	他事業との連携や地域計画に基づく具体的計画が策定されている	B: 他事業と具体的な計画に基づき協議、調整中である	Α	
				C: 他事業と連携した計画とすべきだが未調整である	1	
				A: 市町村の総合振興計画等との調整が図られている		
		他計画との関連	他計画等からみて重点的に整備する妥当性がある	B: 市町村の総合振興計画等と調整中である	Α	
ı	1	ISH II C WINE			C: 市町村の総合振興計画等と調整が必要であるが、未調整である	

【森林整備事業】 都道府県名:岩手県

事業名:森林環境保全整備事業 事業地区名:久慈・閉伊川森林計画区

加起州:	那道的东右:右于东 評価項目		争未有:林怀垛况休主宝佣争来 争未地区有:入总:闭伊川林怀6 	四位 米北/河 =				
大項目		<u>垻日</u> 小項目	評価指標		評価			
7771	1 2 1	健全な森林の育成	森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する	A: 事業計画区域の皿~区令級の人工林面積に占める間伐計画面積の割合が20%以上でかつ森林の 多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている B: 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている	A			
	多様な森林		9 0	C: 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっていない				
有 効 性	<u> </u>	効率的かつ安定的 な林業経営基盤の	多面的機能を有する森林の適正な整備及び保全を図り、効率的かつ	A: 既設の公道等も活用しつつ林道と作業道等の路網が適切に計画されていて、森林整備は路網と適切に連携した計画となっている	A			
性		整備	安定的な林業経営を確立する	B : 林道、作業道等を適切に整備する計画となっており、森林整備は路網と適切に連携した計画となって:				
		1	山村地域の定住を促進する等、山村の生活基盤の向上に寄与する	A: 当該計画が、山村地域への定住の促進に寄与する計画である				
				B: 当該計画が、山村の生活基盤の向上に寄与する計画である	該当なし			
				C: 当該事業は、山村地域への定住促進や生活基盤の向上に寄与する計画ではない				
効				A: 事業の経済性・効率性が確保されているとともに、コストの縮減効果の発現が期待できる				
率	事業の経済性・効率性		事業の経済性、効率性の確保とコストの縮減対策が計画されている	B: 事業の経済性・効率性が確保されている	Α			
性				C: 事業の経済性・効率性が確保されていない				
	A: 計画である							
	日然境場・京	えばべい 田思		B: 上記A以外で自然環境・景観に配慮した計画である	A			
				C: 自然環境・景観に配慮した計画となっていない				
	地域材の有刻	有効利用 地域材を有効利用した工種・工法を積極的に導入している		次のいずれか1項目以上に該当する (ア)地域材を利用した大型の土留工等の設置を計画している A: (イ)地域材を利用した柵工、筋工等に係る直接工事費が当該事業全体の直接工事費に対して十分に大きい (ウ)地域材を有効利用した工種・工法の開発、普及、定着を図る計画である	A			
事			B: 上記Aには該当しないが、地域材を利用した計画である					
業		1		C: 地域材を利用した計画となっていない				
の		ルけ明な老の四級	 地域関係者の理解	地は明広去の田紹生が得られている。	地は明広本の理知符が得されている	A: 地域関係者等からの要望又は同意がある B: 地域関係者等への説明を了している又は同意予定となっている	1 ,	
実 施		地域関係有の理解	地域関係者の理解等が得られている	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	A			
施				C: 地域関係有等への説明又は问题11点は主く実施されていない A: 高性能林業機械の利用計画等の作業体系が確立している	1			
環		作業体系の整備	 事業実施のための作業体系の整備が図られている	B: 事業実施のための作業体系がほぼ確立している	A			
境 等		作未体示の定備	事未天心のための日末体示の歪曲が囚られている	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	⊣ ^			
寸				A: 直近3ヵ年以内に事業計画区域内で激甚災害に指定された災害が発生したことがある	1			
	効率的な事 業の推進	被害地等の早期復旧	森林被害地が早期に復旧されること	B: 過去に事業計画区域内で災害が発生したことがある又は早期に事業を実施しないと災害が発生する可能性がある	В			
	X ** 1E **			C: 事業計画区域内での災害の発生の可能性は全くない				
				A: 他事業と具体的な計画に基づき連携が図られている				
	1	他事業との連携	他事業との連携や地域計画に基づく具体的計画が策定されている	B: 他事業と具体的な計画に基づき協議、調整中である	Α			
	1			C: 他事業と連携した計画とすべきだが未調整である	1			
				A: 市町村の総合振興計画等との調整が図られている				
		他計画との関連	他計画等からみて重点的に整備する妥当性がある	B: 市町村の総合振興計画等と調整中である	Α			
						C: 市町村の総合振興計画等と調整が	C: 市町村の総合振興計画等と調整が必要であるが、未調整である	

東北局 三陸北部署

【森林整備事業】 都道府県名:福島県 事業名:森林環境保全整備事業 事業地区名:会津森林計画区 関東局 会津署南会津支署

加坦州	宗石 . 油局宗		_ 争耒石:槑M琛児休王登佣争耒	画に		用云件又名
大項目	評価 中項目	<u> </u>	評価指標		判定基準	評価
7.7.1	170		森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成	A :	事業計画区域のⅢ~区令級の人工林面積に占める間伐計画面積の割合が20%以上でかつ森林の 多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている	
		健全な森林の育成	する	В:	森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている	В
	多様な森林			C :	森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっていない	
有 効	づくり	効率的かつ安定的	 多面的機能を有する森林の適正な整備及び保全を図り、効率的かつ	A :	既設の公道等も活用しつつ林道と作業道等の路網が適切に計画されていて、森林整備は路網と適切に連携した計画となっている	
性		な林業経営基盤の 整備	^{休へ条柱 呂 本金}	林道、作業道等を適切に整備する計画となっており、森林整備は路網と適切に連携した計画となっ	э А	
		- 11		C :	既設及び計画されている林道、作業道等と森林整備の計画の連携が図られていない	
				A :	当該計画が、山村地域への定住の促進に寄与する計画である	
	山村の活性化	ኒ	山村地域の定住を促進する等、山村の生活基盤の向上に寄与する	В:	当該計画が、山村の生活基盤の向上に寄与する計画である	該当なし
				C :	当該事業は、山村地域への定住促進や生活基盤の向上に寄与する計画ではない	
効				A :	事業の経済性・効率性が確保されているとともに、コストの縮減効果の発現が期待できる	
率	事業の経済性	生・効率性	効率性 事業の経済性、効率性の確保とコストの縮減対策が計画されている	В:	事業の経済性・効率性が確保されている	Α
性				C :	事業の経済性・効率性が確保されていない	
	占好理 章	景観への配慮	ウル神体の個人機能が言葉に が むようでは、プロス	A :	地域住民や自然環境・景観に関する協議会などの意見を取り入れた、自然環境・景観に配慮した計画である	
	日然現場。	景観への配慮 自然環境の保全機能が高度に発揮される計画となっている	В:		A	
				C :		自然環境・景観に配慮した計画となっていない
	地域材の有効利用		地域材を有効利用した工種・工法を積極的に導入している	A :	次のいずれか1項目以上に該当する (ア)地域材を利用した大型の土留工等の設置を計画している (イ)地域材を利用した柵工、筋工等に係る直接工事費が当該事業全体の直接工事費に対して十分に大きい (ウ)地域材を有効利用した工種・工法の開発、普及、定着を図る計画である	В
				В:	上記Aには該当しないが、地域材を利用した計画である	1
事				C :	地域材を利用した計画となっていない	
業				A :	地域関係者等からの要望又は同意がある	
の		地域関係者の理解 地域関係者の理解等が得られている	В:	地域関係者等への説明を了している又は同意予定となっている	Α	
実			- Saladan Bar - Talada la Salada -	C :	地域関係者等への説明又は同意行為は全く実施されていない	1
施環				A :	高性能林業機械の利用計画等の作業体系が確立している	
培		作業体系の整備	事業実施のための作業体系の整備が図られている	В:	事業実施のための作業体系がほぼ確立している	В
境 等				C :	事業実施のための作業体系が全く確立していない	1 -
٠,				A :	直近3ヵ年以内に事業計画区域内で激甚災害に指定された災害が発生したことがある	
	効率的な事 業の推進	被害地等の早期復旧	森林被害地が早期に復旧されること	В:	過去に事業計画区域内で災害が発生したことがある又は早期に事業を実施しないと災害が発生する可能性がある	В
				C :	事業計画区域内での災害の発生の可能性は全くない	
				A :	他事業と具体的な計画に基づき連携が図られている	
		他事業との連携	他事業との連携や地域計画に基づく具体的計画が策定されている	В:	他事業と具体的な計画に基づき協議、調整中である	Α
				C :	他事業と連携した計画とすべきだが未調整である	
				A :	市町村の総合振興計画等との調整が図られている	
•		他計画との関連	他計画等からみて重点的に整備する妥当性がある	В:	市町村の総合振興計画等と調整中である	Α
i				C :	市町村の総合振興計画等と調整が必要であるが、未調整である	1

【森林整備事業】 都道府県名:静岡県 関東局 伊豆署 事業名:森林環境保全整備事業 事業地区名:伊豆森林計画区

	<u>採品、新國家</u>	項目	事未有,林怀垛况休主 <u>至</u> 佣事未		
大項目		小項目	評価指標	判定基準	評価
		ゆ へた本せの充止	森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成	A: 事業計画区域のⅢ~区令級の人工林面積に占める間伐計画面積の割合が20%以上でかつ森林の 多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている	
		健全な森林の育成	する	B: 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている	Α
	多様な森林			C: 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっていない	
有 効	づくり	効率的かつ安定的	多面的機能を有する森林の適正な整備及び保全を図り、効率的かつ	A: 既設の公道等も活用しつつ林道と作業道等の路網が適切に計画されていて、森林整備は路網と適切に連携した計画となっている	
性		な林業経営基盤の 整備	安定的な林業経営を確立する	B: 林道、作業道等を適切に整備する計画となっており、森林整備は路網と適切に連携した計画となっ	В
		走 佣	H	C: 既設及び計画されている林道、作業道等と森林整備の計画の連携が図られていない	
I				A: 当該計画が、山村地域への定住の促進に寄与する計画である	
	山村の活性化	t	山村地域の定住を促進する等、山村の生活基盤の向上に寄与する	B: 当該計画が、山村の生活基盤の向上に寄与する計画である	該当なし
				C: 当該事業は、山村地域への定住促進や生活基盤の向上に寄与する計画ではない	
効				A: 事業の経済性・効率性が確保されているとともに、コストの縮減効果の発現が期待できる	
率性	事業の経済性	生・効率性	事業の経済性、効率性の確保とコストの縮減対策が計画されている	B: 事業の経済性・効率性が確保されている	Α
性				C: 事業の経済性・効率性が確保されていない	
	占好理	見知。の形成	ウルではの個人機能と言葉に発揮されて11束しま。 でいて	A: 地域住民や自然環境・景観に関する協議会などの意見を取り入れた、自然環境・景観に配慮した 計画である	
	自然環境・景観への配慮 地域材の有効利用		観への配慮 自然環境の保全機能が高度に発揮される計画となっている	B: 上記A以外で自然環境・景観に配慮した計画である	A
				C: 自然環境・景観に配慮した計画となっていない	
			地域材を有効利用した工種・工法を積極的に導入している	次のいずれか1項目以上に該当する (ア)地域材を利用した大型の土留工等の設置を計画している A: (イ)地域材を利用した柵工、筋工等に係る直接工事費が当該事業全体の直接工事費に対して十分に大きい (ウ)地域材を有効利用した工種・工法の開発、普及、定着を図る計画である	В
+				B: 上記Aには該当しないが、地域材を利用した計画である	
事				C: 地域材を利用した計画となっていない	
業の				A: 地域関係者等からの要望又は同意がある	
の宝		地域関係者の理解	地域関係者の理解 地域関係者の理解等が得られている B: 地域関係者等への説明を了している又は同意予定となっている	B: 地域関係者等への説明を了している又は同意予定となっている	Α
実 施環境				C: 地域関係者等への説明又は同意行為は全く実施されていない	1
環				A: 高性能林業機械の利用計画等の作業体系が確立している	
境		作業体系の整備	事業実施のための作業体系の整備が図られている	B: 事業実施のための作業体系がほぼ確立している	В
等				C: 事業実施のための作業体系が全く確立していない	
	効率的な事	被害地等の早期復旧	森林被害地が早期に復旧されること	A: 直近3ヵ年以内に事業計画区域内で激甚災害に指定された災害が発生したことがある B: 過去に事業計画区域内で災害が発生したことがある又は早期に事業を実施しないと災害が発生す	В
	業の推進	10.11.0 () () () () () ()	WHITE INCH STORY OF THE CASE O		վ ՝ ՝
				C: 事業計画区域内での災害の発生の可能性は全くない	
		(4) 古世しの 古様	ᆙᆂᄴᆛᇬᆂᄹᄔᆙᅝᆋᇎᇎᅼᅗᄼᄝᄔᄹᆋᇎᇎᅝᅉᄼᄓᅩᄀᆟ	A: 他事業と具体的な計画に基づき連携が図られている	┨ ,
		他事業との連携	他事業との連携や地域計画に基づく具体的計画が策定されている	B: 他事業と具体的な計画に基づき協議、調整中である	Α
				C: 他事業と連携した計画とすべきだが未調整である	
		A: 市町村の総合振興計画等との調整が図られている		┨ .	
		他計画との関連	他計画等からみて重点的に整備する妥当性がある	B: 市町村の総合振興計画等と調整中である	Α
				C : 市町村の総合振興計画等と調整が必要であるが、未調整である	

【森林整備事業】 都道府県名:長野県 事業名:森林環境保全整備事業 事業地区名:木曽谷森林計画区

中部局 木曽署、木曽署南木曽支署

17人已八寸:	宗石 · 女野宗 証価	項目	争耒石:秫M瑔児休王笠伽争耒 争耒圯区石:不旨台粖M訂 		中即问 不自有、不自有	
大項目		小項目	評価指標		判定基準	評価
	1 2 7		森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成	A :	事業計画区域のⅢ~区令級の人工林面積に占める間伐計画面積の割合が20%以上でかつ森林の 多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている	
		健全な森林の育成	する	В:	森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている	В
	多様な森林			C :	森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっていない	
有 効	づくり	効率的かつ安定的 な林業経営基盤の	 多面的機能を有する森林の適正な整備及び保全を図り、効率的かつ	A :	既設の公道等も活用しつつ林道と作業道等の路網が適切に計画されていて、森林整備は路網と適切に連携した計画となっている	
性		な外来だ呂基盤の 整備	安定的な林業経営を確立する	В:	林道、作業道等を適切に整備する計画となっており、森林整備は路網と適切に連携した計画となっ	2 A
-		走佣	1	C :	既設及び計画されている林道、作業道等と森林整備の計画の連携が図られていない	
				A :	当該計画が、山村地域への定住の促進に寄与する計画である	
	山村の活性化	<mark></mark>	山村地域の定住を促進する等、山村の生活基盤の向上に寄与する	В:	当該計画が、山村の生活基盤の向上に寄与する計画である	該当な
				C :	当該事業は、山村地域への定住促進や生活基盤の向上に寄与する計画ではない	
効				A :	事業の経済性・効率性が確保されているとともに、コストの縮減効果の発現が期待できる	
率	事業の経済性	・効率性 事業の経済性、効率性の確保とコストの縮減対策が計画されている	В:	事業の経済性・効率性が確保されている	Α	
性				C :		
	方 似四 块 5	見知。の刑庁	自然環境の保全機能が高度に発揮される計画となっている	A :	計画である	
	自然環境・最	「京観への印思 日 日 日 日	В:	上記A以外で自然環境・景観に配慮した計画である	A	
				C :	自然環境・景観に配慮した計画となっていない	
	地域材の有効利用		地域材を有効利用した工種・工法を積極的に導入している	A :	次のいずれか1項目以上に該当する (ア)地域材を利用した大型の土留工等の設置を計画している (イ)地域材を利用した柵工、筋工等に係る直接工事費が当該事業全体の直接工事費に対して十分に大きい (ウ)地域材を有効利用した工種・工法の開発、普及、定着を図る計画である	А
				В:	上記Aには該当しないが、地域材を利用した計画である	1
事				C :	地域材を利用した計画となっていない	
業				A :	地域関係者等からの要望又は同意がある	
の 実		地域関係者の理解	地域関係者の理解等が得られている	B :	地域関係者等への説明を了している又は同意予定となっている	Α
灰				C :	地域関係者等への説明又は同意行為は全く実施されていない	
施環				A :	高性能林業機械の利用計画等の作業体系が確立している	
境		作業体系の整備	事業実施のための作業体系の整備が図られている	В:	事業実施のための作業体系がほぼ確立している	В
等				C :	事業実施のための作業体系が全く確立していない	
•				Α:	直近3ヵ年以内に事業計画区域内で激甚災害に指定された災害が発生したことがある	
	効果的な事 業の推進	被害地等の早期復旧	森林被害地が早期に復旧されること	В:	過去に事業計画区域内で災害が発生したことがある又は早期に事業を実施しないと災害が発生する可能性がある	─ 該当なし -
				C :	事業計画区域内での災害の発生の可能性は全くない	
				A :	他事業と具体的な計画に基づき連携が図られている	
		他事業との連携	他事業との連携や地域計画に基づく具体的計画が策定されている	В:	他事業と具体的な計画に基づき協議、調整中である	Α
				C :	他事業と連携した計画とすべきだが未調整である	1
					市町村の総合振興計画等との調整が図られている	
		他計画との関連	他計画等からみて重点的に整備する妥当性がある	В:	市町村の総合振興計画等と調整中である	Α
				C·	市町村の総合振興計画等と調整が必要であるが、未調整である	1

【森林整備事業】 都道府県名:広島県 事業名:森林環境保全整備事業費 事業地区名:瀬戸内森林計画区

		項目	評価指標		判定基準	評価
項目	中項目	小項目	H Imil 144			H111
			************************************	A :	事業計画区域のⅢ~区令級の人工林面積に占める間伐計画面積の割合が20%以上でかつ森林の 多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている	
		健全な森林の育成	全な森林の育成 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成 する	В:		_ A
	多様な森林		y &	C ·		-
ī	づくり			0.	既設の公道等も活用しつつ林道と作業道等の路網が適切に計画されていて、森林整備は路網と適	
1		効率的かつ安定的	多面的機能を有する森林の適正な整備及び保全を図り、効率的かつ	A :	切に連携した計画となっている	
効 性 —		な林業経営基盤の 整備	安定的な林業経営を確立する		林道、作業道等を適切に整備する計画となっており、森林整備は路網と適切に連携した計画となっ	2
		全		C :	が此次の計画となる。 の作を、日来を引き続い計画の記画のにある。	
				A :	当該計画が、山村地域への定住の促進に寄与する計画である	
	山村の活性化	Ł	山村地域の定住を促進する等、山村の生活基盤の向上に寄与する	В:	当該計画が、山村の生活基盤の向上に寄与する計画である	該
				C :	当該事業は、山村地域への定住促進や生活基盤の向上に寄与する計画ではない	
				A :	事業の経済性・効率性が確保されているとともに、コストの縮減効果の発現が期待できる	
率 事業 性	事業の経済性	生・効率性	事業の経済性、効率性の確保とコストの縮減対策が計画されている	В:	事業の経済性・効率性が確保されている	
<u> </u>				C :		
				A :	地域住民や自然環境・景観に関する協議会などの意見を取り入れた、自然環境・景観に配慮した	
	自然環境・最	環境・景観への配慮 自然環境の保全機能が高度に発揮される計画となっている	В.	計画である 上記A以外で自然環境・景観に配慮した計画である	-	
				C :		∃ ^
	地域材の有効利用		C	U :		-
			地域材を有効利用した工種・工法を積極的に導入している	A :	次のいずれか1項目以上に該当する (ア)地域材を利用した大型の土留工等の設置を計画している (イ)地域材を利用した柵工、筋工等に係る直接工事費が当該事業全体の直接工事費に対して十分に大きい (ウ)地域材を有効利用した工種・工法の開発、普及、定着を図る計画である	
				В:	上記Aには該当しないが、地域材を利用した計画である	
1						
				A :		
)		地域関係者の理解	地域関係者の理解等が得られている	B :		
更地景				C :		_ A _ В
<u>1</u> . ≅				A :	高性能林業機械の利用計画等の作業体系が確立している	
Ŕ 높		作業体系の整備	事業実施のための作業体系の整備が図られている	В:	事業実施のための作業体系がほぼ確立している	
i i				C :	事業実施のための作業体系が全く確立していない	
,				A :	直近3ヵ年以内に事業計画区域内で激甚災害に指定された災害が発生したことがある	
	効率的な事 業の推進	被害地等の早期復旧	森林被害地が早期に復旧されること	В:	過去に事業計画区域内で災害が発生したことがある又は早期に事業を実施しないと災害が発生する可能性がある	
	木の圧圧			C :		-
				A :		-
		他事業との連携	他事業との連携や地域計画に基づく具体的計画が策定されている	B:	他事業と具体的な計画に基づき協議、調整中である	該当な
		心ず木といた防	にサネーシをは、では多り間に多って大学の可能が、光をつかている	C :	他事業と連携した計画とすべきだが未調整である	
				A :		-
		他計画との関連	他計画等からみて重点的に整備する妥当性がある	B:	市町村の総合振興計画等と調整中である	1
			にいロック・アくエルロー正開アのメコログの	C :		-

【森林整備事業】 都道府県名: 高知県 事業夕·森林瑨愔保仝敕備事業 事業地区名·四万十川森林計画区 四国民 四万十零

都迫府!	県名: 高知		事業名:森林環境保全整備事業 事業地区名:四万十川森林計	画区	四国局	四万十署
大項目	評価 中項目	項目 小項目	評価指標		判定基準	評価
	多様な森林	健全な森林の育成	森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する		事業計画区域のⅢ~区今級の人工林面積に占める間伐計画面積の割合が20%以上でかつ森林の 多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっていない	A
有 効 性	づくり	効率的かつ安定的 な林業経営基盤の 整備	多面的機能を有する森林の適正な整備及び保全を図り、効率的かつ 安定的な林業経営を確立する	A :	既設の公道等も活用しつつ林道と作業道等の路網が適切に計画されていて、森林整備は路網と適切に連携した計画となっている 林道、作業道等を適切に整備する計画となっており、森林整備は路網と適切に連携した計画とな	A
	山村の活性化	Ł	山村地域の定住を促進する等、山村の生活基盤の向上に寄与する	A :	当該計画が、山村地域への定住の促進に寄与する計画である 当該計画が、山村の生活基盤の向上に寄与する計画である 当該事業は、山村地域への定住促進や生活基盤の向上に寄与する計画ではない	該当なし
効 率 性	事業の経済性	生・効率性	事業の経済性、効率性の確保とコストの縮減対策が計画されている	В:	事業の経済性・効率性が確保されているとともに、コストの縮減効果の発現が期待できる 事業の経済性・効率性が確保されている 事業の経済性・効率性が確保されていない	В
	自然環境・最	景観への配慮	自然環境の保全機能が高度に発揮される計画となっている	A : B : C :	地域住民や自然環境・景観に関する協議会などの意見を取り入れた、自然環境・景観に配慮した計画である 上記A以外で自然環境・景観に配慮した計画である 自然環境・景観に配慮した計画となっていない	A
	地域材の有効利用		地域材を有効利用した工種・工法を積極的に導入している	A :	次のいずれか1項目以上に該当する (ア)地域材を利用した大型の土留工等の設置を計画している (イ)地域材を利用した柵工、筋工等に係る直接工事費が当該事業全体の直接工事費に対して十分に大きい (ウ)地域材を有効利用した工種・工法の開発、普及、定着を図る計画である	A
事業		T		C :	上記Aには該当しないが、地域材を利用した計画である 地域材を利用した計画となっていない 地域関係者等からの要望又は同意がある	
の実施		地域関係者の理解	地域関係者の理解等が得られている			Α
環境等		作業体系の整備	事業実施のための作業体系の整備が図られている		高性能林業機械の利用計画等の作業体系が確立している 事業実施のための作業体系がほぼ確立している 事業実施のための作業体系が全く確立していない	A
	効率的な事 業の推進	被害地等の早期復旧	森林被害地が早期に復旧されること	A : B :	直近3カ年以内に事業計画区域内で激甚災害に指定された災害が発生したことがある 過去に事業計画区域内で災害が発生したことがある又は早期に事業を実施しないと災害が発生する可能性がある 事業計画区域内での災害の発生の可能性は全くない	A
		他事業との連携	他事業との連携や地域計画に基づく具体的計画が策定されている	Α:	他事業と具体的な計画に基づき連携が図られている 他事業と具体的な計画に基づき連携が図られている 他事業と連携した計画とすべきだが未調整である	Α
		他計画との関連	他計画等からみて重点的に整備する妥当性がある		市町村の総合振興計画等との調整が図られている 市町村の総合振興計画等と調整中である 市町村の総合振興計画等と調整が必要であるが、未調整である	A

【森林整備事業】

都道府県名:宮崎県 事業名:森林環境保全整備事業 事業地区名:一ツ瀬川森林計画区

評価項目 判定基準 評価指標 評価 大項目 中項目 小項目 事業計画区域のⅢ~区令級の人工林面積に占める間伐計画面積の割合が20%以上でかつ森林の 多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成 健全な森林の育成 Α B: 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっている 多様な森林 C: 森林の多面的機能を十分に発揮することができる健全な森林を育成する計画となっていない づくり 既設の公道等も活用しつつ林道と作業道等の路網が適切に計画されていて、森林整備は路網と適 効率的かつ安定的 切に連携した計画となっている 効 多面的機能を有する森林の適正な整備及び保全を図り、効率的かつ な林業経営基盤の В |林道、作業道等を適切に整備する計画となっており、森林整備は路網と適切に連携した計画となっ 性 安定的な林業経営を確立する 整備 C: | 既設及び計画されている林道、作業道等と森林整備の計画の連携が図られていない 当該計画が、山村地域への定住の促進に寄与する計画である 山村の活性化 該当無し 山村地域の定住を促進する等、山村の生活基盤の向上に寄与する 当該計画が、山村の生活基盤の向上に寄与する計画である 当該事業は、山村地域への定住促進や生活基盤の向上に寄与する計画ではない 事業の経済性・効率性が確保されているとともに、コストの縮減効果の発現が期待できる 事業の経済性・効率性 事業の経済性、効率性の確保とコストの縮減対策が計画されている B: 事業の経済性・効率性が確保されている Α 性 事業の経済性・効率性が確保されていない 地域住民や自然環境・景観に関する協議会などの意見を取り入れた、自然環境・景観に配慮した 計画である 自然環境・景観への配慮 自然環境の保全機能が高度に発揮される計画となっている В 上記A以外で自然環境・景観に配慮した計画である C: 自然環境・景観に配慮した計画となっていない 次のいずれか1項目以上に該当する (ア) 地域材を利用した大型の土留工等の設置を計画している (イ) 地域材を利用した柵工、筋工等に係る直接工事費が当該事業全体の直接工事費に対して十 分に大きい В 地域材の有効利用 地域材を有効利用した工種・工法を積極的に導入している (ウ) 地域材を有効利用した工種・工法の開発、普及、定着を図る計画である B: 上記Aには該当しないが、地域材を利用した計画である 事 C: 地域材を利用した計画となっていない 業 A: 地域関係者等からの要望又は同意がある の 地域関係者の理解 B: 地域関係者等への説明を了している又は同意予定となっている 地域関係者の理解等が得られている Α 実 C: 地域関係者等への説明又は同意行為は全く実施されていない 施 A: 高性能林業機械の利用計画等の作業体系が確立している 環 作業体系の整備 事業実施のための作業体系の整備が図られている В 境 B: 事業実施のための作業体系がほぼ確立している C: 事業実施のための作業体系が全く確立していない A: 直近3ヵ年以内に事業計画区域内で激甚災害に指定された災害が発生したことがある 効果的な事 過去に事業計画区域内で災害が発生したことがある又は早期に事業を実施しないと災害が発生す 被害地等の早期復旧 Α 森林被害地が早期に復旧されること 業の推進 る可能性がある C: 事業計画区域内での災害の発生の可能性は全くない 他事業と具体的な計画に基づき連携が図られている 他事業との連携 他事業との連携や地域計画に基づく具体的計画が策定されている Α |他事業と具体的な計画に基づき協議、調整中である C: 他事業と連携した計画とすべきだが未調整である A: 市町村の総合振興計画等との調整が図られている 他計画との関連 他計画等からみて重点的に整備する妥当性がある B: 市町村の総合振興計画等と調整中である Α C: 市町村の総合振興計画等と調整が必要であるが、未調整である

九州局 西都児湯署